



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成25年10月30日

上場会社名 株式会社電算 上場取引所 東  
 コード番号 3640 URL http://www.ndensan.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 轟 一太  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画本部長 (氏名) 石丸 美枝 TEL 026-224-6666  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 平成25年12月9日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	5,403	△13.2	△434	—	△430	—	△305	—
25年3月期第2四半期	6,227	10.8	451	129.0	454	123.2	300	100.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△52.46	—
25年3月期第2四半期	51.83	51.80

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	16,583	8,008	48.3	1,385.41
25年3月期	17,575	8,446	48.1	1,446.99

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 8,008百万円 25年3月期 8,446百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	33.00	—	20.00	53.00
26年3月期	—	17.00			
26年3月期(予想)			—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

(注) 平成25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 記念配当 3円00銭

### 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,432	△10.1	△413	—	△426	—	△306	—	△52.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	5,837,200株	25年3月期	5,837,200株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	56,300株	25年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	5,821,122株	25年3月期2Q	5,793,180株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策や日本銀行による金融政策の推進を背景とした円高の是正及び株価の上昇により、景況回復・企業収益回復の兆しが見え始めた一方で、欧州政府債務危機等による海外経済の停滞や、新興国の景気減速など、先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する情報サービス業界におきましては、民間企業の情報関連投資は改善傾向にあり、特に金融関連のシステム開発案件は増加しておりますが、公共分野における大規模な法制度改正に伴うシステム開発案件は少なく、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもとで、当社は、引き続き新規顧客の開拓並びに市区町村向けのシステムリプレース、リース業向け新リーストータルシステム、医療機関向け医事会計・電子カルテシステムなどの病院情報システム及び民間企業向けデータセンターサービスの受注活動に注力いたしました。

当第2四半期累計期間におきましては、特に公共分野で例年と比較し法制度改正対応が予測を大きく下回ったこと、大規模な新規システム開発案件の失注等により売上高が大幅に減少したこと、価格競争下で利益率が低下したことなどにより、前年同期に比べ減収減益となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,403百万円（前年同期比13.2%減）、経常損失は430百万円（前年同期は454百万円の経常利益）及び四半期純損失は305百万円（前年同期は300百万円の四半期純利益）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## &lt;公共分野&gt;

定例業務である固定資産税・住民税・国民健康保険税（料）等の受託計算処理及び総合行政情報システム（Reams.NET）等のシステムの使用料・保守料収入のほか、総合行政情報システムや戸籍システムのリプレース導入等を行いました。

当第2四半期累計期間におきましては、例年と比較し法制度改正対応が予測を大きく下回ったこと、大規模な新規システム開発案件の失注等により売上高が大幅に減少したこと、価格競争下で利益率が低下したこと等により、前年同期に比べ減収減益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は3,681百万円（前年同期比19.3%減）、営業損失は239百万円（前年同期は540百万円の営業利益）となりました。

## &lt;産業分野&gt;

定例業務である給与計算、口座振替等の受託計算処理及びインターネット接続サービスのほか、リース業向け新リーストータルシステムの開発・導入、製造業向け生産管理システムの開発及び医療機関向け病院総合情報システム・機器の販売・導入等を行いました。

当第2四半期累計期間におきましては、システム開発において原価が当初予定を超過する案件が発生したことなどにより、前年同期に比べ増収減益となりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は1,722百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失は180百万円（前年同期は59百万円の営業損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して992百万円減少し、16,583百万円となりました。これは主に商品が148百万円、仕掛品が64百万円、投資その他の資産その他（投資有価証券）が114百万円及び投資その他の資産その他（繰延税金資産）が73百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が1,031百万円、流動資産その他が148百万円及び建物（純額）が247百万円減少したことによるものです。

負債は前事業年度末と比較して554百万円減少し、8,574百万円となりました。これは主に長期借入金が261百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が191百万円、短期借入金が106百万円及び流動負債その他（未払金）が517百万円減少したことによるものです。

また、純資産は前事業年度末と比較して437百万円減少し、8,008百万円となりました。これは主に四半期純損失により305百万円、期末配当により116百万円減少したことによるものです。

なお、自己資本比率は、48.3%（前事業年度末48.1%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ131百万円減少し、2,244百万円（前年同期比42.6%増）となりました。

また、当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は671百万円となりました。これは、主に税引前四半期純損失457百万円及びたな卸資産の増加213百万円により資金使用したものの、減価償却費343百万円及び売上債権の減少1,031百万円により資金獲得したためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、投資活動の結果使用した資金は734百万円となりました。これは、主に定期預金の預入による支出90百万円、有形固定資産の取得による支出594百万円及び無形固定資産の取得による支出49百万円により資金使用したためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において、財務活動の結果使用した資金は69百万円となりました。これは、主に長期借入金の借入による収入420百万円により資金獲得したものの、短期借入金の純減額106百万円、長期借入金の返済による支出158百万円及び自己株式の取得による支出96百万円により資金使用したためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、平成25年9月13日公表の業績予想通りの結果であり、下期の業績も現在のところ業績予想通り推移すると見込まれるため、平成26年3月期の通期の業績予想につきましては、平成25年9月13日公表の業績予想を変更いたしません。

2. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,774,721	2,732,725
受取手形及び売掛金	3,656,219	2,625,177
商品	65,565	214,416
仕掛品	122,912	187,617
原材料及び貯蔵品	20,951	21,279
その他	1,682,033	1,533,436
貸倒引当金	△2,129	△1,526
流動資産合計	8,320,274	7,313,126
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,440,664	5,192,831
土地	1,732,845	1,732,845
その他(純額)	574,815	657,467
有形固定資産合計	7,748,326	7,583,145
無形固定資産		
投資その他の資産	290,452	281,662
その他	1,226,975	1,415,931
貸倒引当金	△10,813	△10,836
投資その他の資産合計	1,216,162	1,405,094
固定資産合計	9,254,941	9,269,902
資産合計	17,575,215	16,583,029
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	844,541	652,963
短期借入金	2,372,000	2,266,000
1年内返済予定の長期借入金	317,040	317,040
未払法人税等	—	15,772
賞与引当金	658,311	677,859
製品保証引当金	2,726	2,218
受注損失引当金	—	1,326
資産除去債務	—	24,789
その他	1,395,762	897,295
流動負債合計	5,590,380	4,855,266
固定負債		
長期借入金	1,657,940	1,919,420
退職給付引当金	1,079,067	1,090,577
資産除去債務	25,135	405
その他	776,298	708,459
固定負債合計	3,538,441	3,718,862
負債合計	9,128,821	8,574,128

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,395,482	1,395,482
資本剰余金	1,044,925	1,044,925
利益剰余金	6,064,154	5,642,034
自己株式	—	△96,624
株主資本合計	8,504,562	7,985,817
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△58,168	23,082
評価・換算差額等合計	△58,168	23,082
純資産合計	8,446,393	8,008,900
負債純資産合計	17,575,215	16,583,029

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,227,367	5,403,990
売上原価	4,217,434	3,986,752
売上総利益	2,009,933	1,417,238
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	578,440	580,272
賞与引当金繰入額	213,954	214,779
貸倒引当金繰入額	1,971	△294
その他	763,653	1,056,498
販売費及び一般管理費合計	1,558,020	1,851,254
営業利益又は営業損失(△)	451,913	△434,016
営業外収益		
受取利息	318	392
受取配当金	7,626	7,028
還付加算金	—	4,730
受取報奨金	2,000	—
その他	2,157	3,102
営業外収益合計	12,102	15,254
営業外費用		
支払利息	3,621	11,384
為替差損	5,888	—
その他	—	821
営業外費用合計	9,509	12,205
経常利益又は経常損失(△)	454,506	△430,967
特別利益		
固定資産売却益	1,255	—
負ののれん発生益	1,205	—
関係会社清算益	10,914	—
補助金収入	—	205,435
特別利益合計	13,375	205,435
特別損失		
減損損失	—	36,131
固定資産圧縮損	—	196,155
投資有価証券売却損	3,035	—
特別損失合計	3,035	232,286
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	464,846	△457,819
法人税、住民税及び事業税	158,500	6,711
法人税等調整額	6,081	△159,155
法人税等合計	164,581	△152,444
四半期純利益又は四半期純損失(△)	300,264	△305,375



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	464,846	△457,819
減価償却費	218,661	343,290
減損損失	—	36,131
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,337	△579
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,919	19,548
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,362	11,510
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	309	△508
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	—	1,326
受取利息及び受取配当金	△7,945	△7,421
支払利息	3,621	11,384
為替差損益 (△は益)	5,888	△45
固定資産売却損益 (△は益)	△1,255	—
固定資産圧縮損	—	196,155
投資有価証券売却損益 (△は益)	3,035	—
負ののれん発生益	△1,205	—
関係会社清算損益 (△は益)	△10,914	—
補助金収入	—	△205,435
売上債権の増減額 (△は増加)	2,225,710	1,031,041
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△653,080	△213,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,451	△191,577
前受金の増減額 (△は減少)	43,066	△4,756
その他	△236,534	△175,550
小計	2,113,276	392,811
利息及び配当金の受取額	7,964	7,435
利息の支払額	△3,608	△11,340
補助金の受取額	—	205,435
法人税等の支払額	△304,083	△19,218
法人税等の還付額	—	96,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,813,548	671,648
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△90,000	△90,000
有形固定資産の取得による支出	△1,280,398	△594,256
有形固定資産の売却による収入	2,415	—
無形固定資産の取得による支出	△17,514	△49,776
投資有価証券の取得による支出	—	△500
投資有価証券の売却による収入	8,579	—
関係会社の整理による収入	32,265	—
事業譲受による支出	△6,500	—
その他	145	340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,351,006	△734,192

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	778,000	△106,000
長期借入れによる収入	—	420,000
長期借入金の返済による支出	—	△158,520
リース債務の返済による支出	△10,252	△11,608
株式の発行による収入	39,900	—
自己株式の取得による支出	—	△96,624
配当金の支払額	△89,701	△116,744
財務活動によるキャッシュ・フロー	717,946	△69,497
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,888	45
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,174,599	△131,996
現金及び現金同等物の期首残高	399,490	2,376,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,574,089	2,244,725

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。